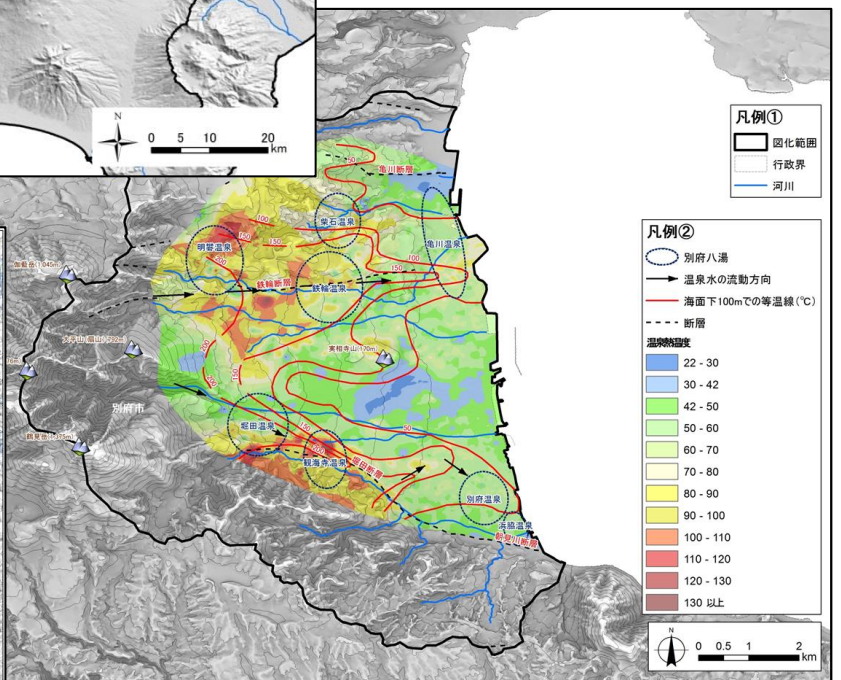
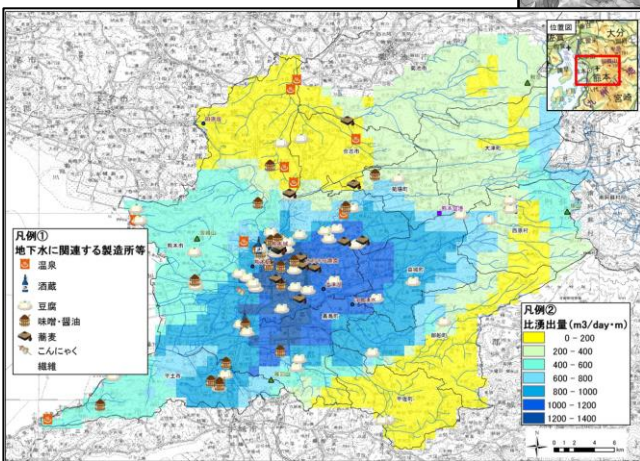
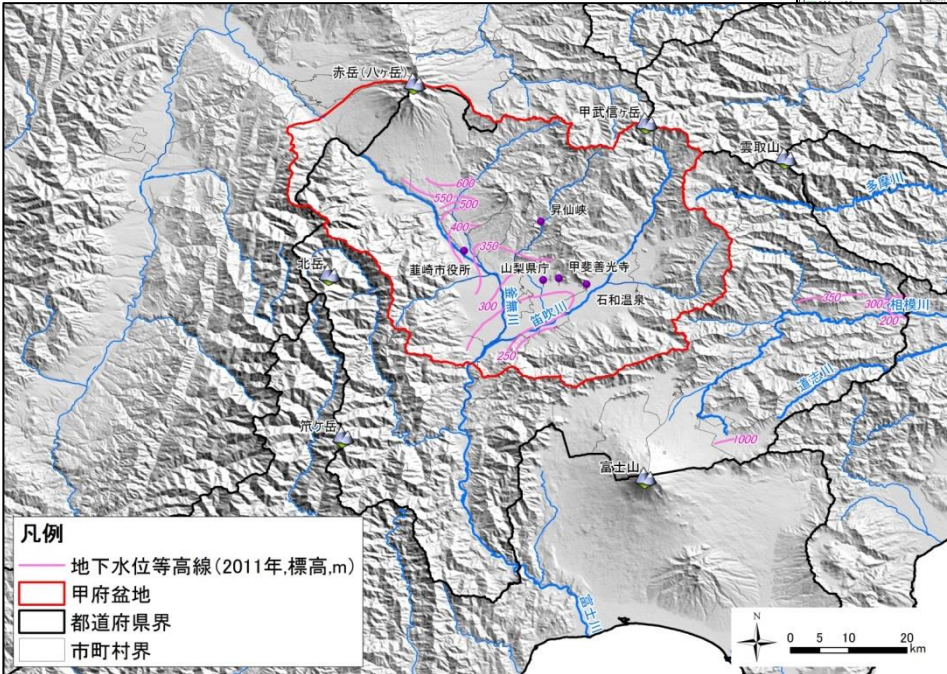
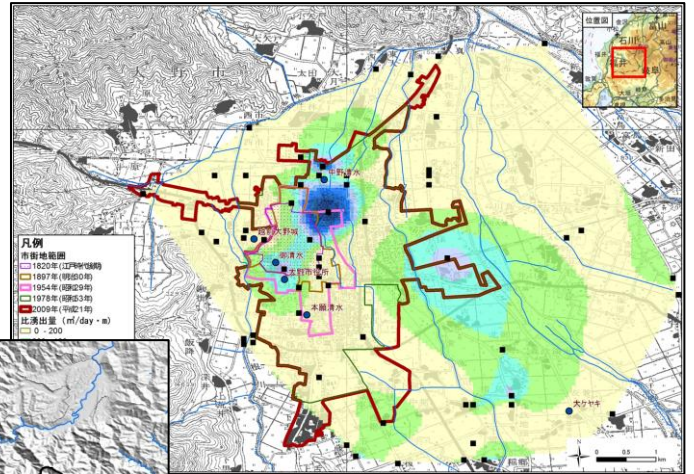


# 地下水と私たちの暮らし

—地下水の見える化で地域の再発見に—



「地下水の見える化」で、社会にうるおいを与える・人の輪が広がる・地域が元気になる

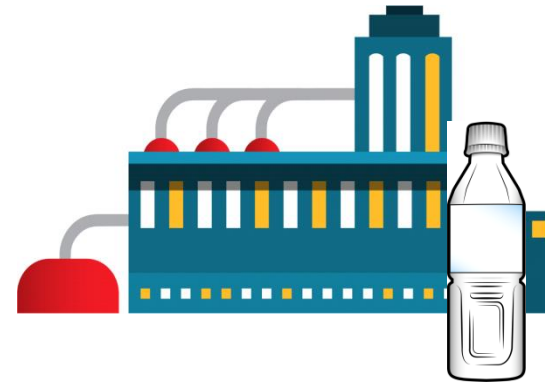
地下水は、自分たちの生活や、ふるさとの産業、生物を支える大切な水のひとつですよ！



でも、地下水ってさわれないし、見れないし、実感がわからないよね。



けどこの地下水を使わない手はないな。地域の水をブランド化するのはどうだろう。自慢の水でつくる米はおいしいし、この水を都会の人に飲んでもらいたいな



わたしたちが行っている冬季湛水は、地下水保全に大きな効果があるんだ。地域みんなに知ってもらいたいね。

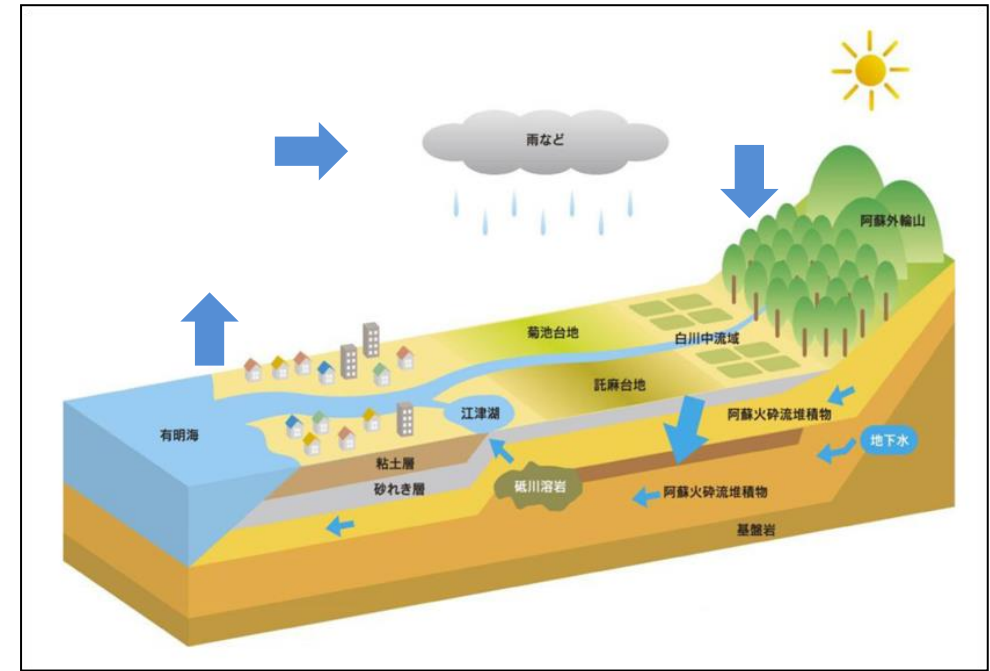


うちの旨い酒は、くみ上げた地下水を利用しているんだ。地下水が地域の産業を支えていることをみんな知っているだろうか。



## 地下水は循環して流れています

地下水は、山などの水源域にふった雨が地盤にゆっくりしみこんで、地下を流れ下ってきます。地下水はその循環のさまざまな場所で、**飲料水**として汲み上げられたり、**工場**で利用されたり、**水田**に蓄えられたり、**湧水**として湧き出たり、**木々**を育てたりして、わたしたちの暮らしに密接にかかわっています。



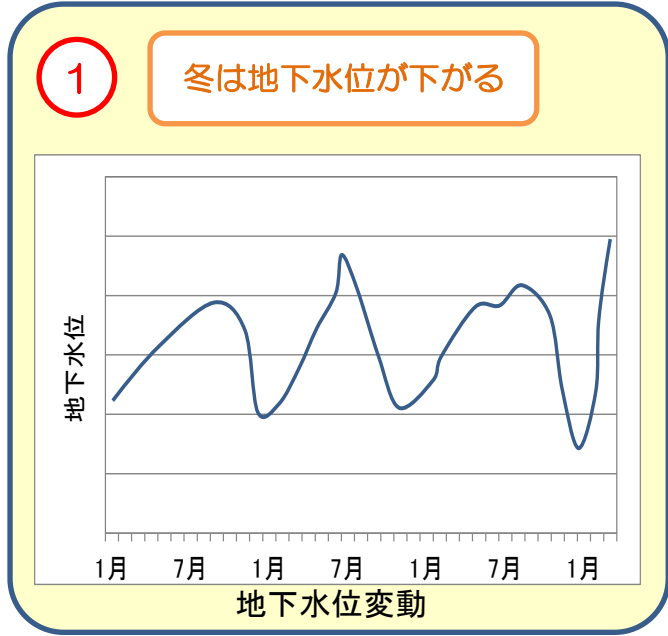
地下水の循環の模式図（熊本地域の例）

地下水の見える化を通じて、地域の地下水のことをよく知ることによって、地下水保全活動の重要性を市民に伝えたり、水を使った地域商品のブランド化を考えたり、希少生物やその棲み場所を守ったりすることが可能となり、うるおいのある地域づくりや地域の活性化につながります。



次のページからはいくつかの例を挙げて見てみましょう。

事例 1：地下水保全のために実施している「冬水たんぼ」を知ってもらいたい（「地下水の見える化」で地下水の保全活動を理解してもらうために）

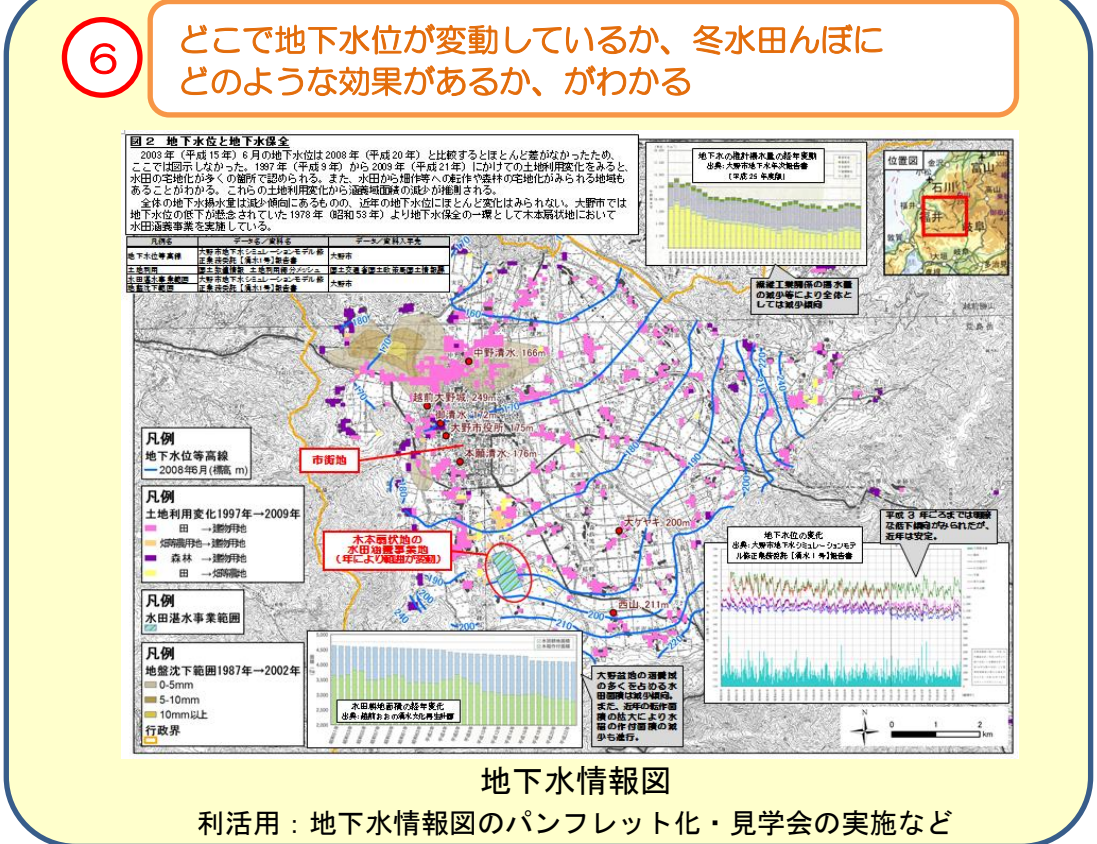


うち（水土里ネット）で実施している「冬水たんぼ事業」が地下水保全に貢献していることをみんなに知ってもらいたい



⑦

- 冬水たんぼの協力者・理解者が増える
- ブランド米として認知される
- みんなに知ってもらうことで地下水が保全され、うるおいのある社会が維持される など




⑤ 集めたデータを図面にかさねてみよう

GIS（情報を重ね合わせて表示するソフトウェア）などを利用 ※専門家に委託することもできる

事例2：希少な魚（イトヨ）を守るために、きれいな湧水の出る場所を保全したい（「地下水の見える化」で希少生物を保全するために）

① 全国で希少な生物が減少している

希少な生物は、自然環境を指標するバロメーターであり、観光や学習などに関わる地域の重要な資源である。



③ 希少な生物や湧水地については、各地で保全活動が実施されている



③ 地域の人にイトヨや湧水のことをもっと知ってもらうためには・・・

イトヨの生態、分布、生息数、湧水の位置、水質や水温などを調べよう。




イトヨを守る会では、湧水を保全したい。イトヨが棲むきれいな湧水を増やしたい。



⑥

- イトヨを増やすことができる
- 観光資源として活用する
- イトヨを通じた地域間連携を推進する
- より活発な環境学習につなげる など

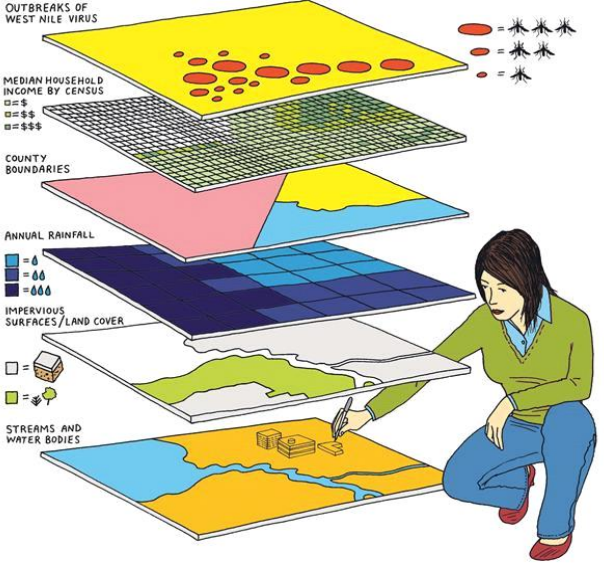


⑤ イトヨの分布位置やイトヨが棲んでいる湧水、棲んでいない湧水がわかる。



地下水情報図  
利活用：湧水の清掃活動、地下水保全活動などにつなげる

④ 集めたデータを図面にかさねてみよう



GIS（情報を重ね合わせて表示するソフトウェア）などを利用 ※専門家に委託することもできる

事例3：酒や豆腐など地元のきれいな地下水とコラボした新しいブランドをつくりたい (「地下水の見える化」で新たな商品を開発するために)



次の商品は  
何にしよう?



① 「おいしい水」を  
キーワードにした  
商品開発ができないか



② 私たちの商店街の産物と  
地下水の関わりを調べてみよう



③ 役場等で地下水の水質や  
利用基準などの情報があるか  
聞いてみよう



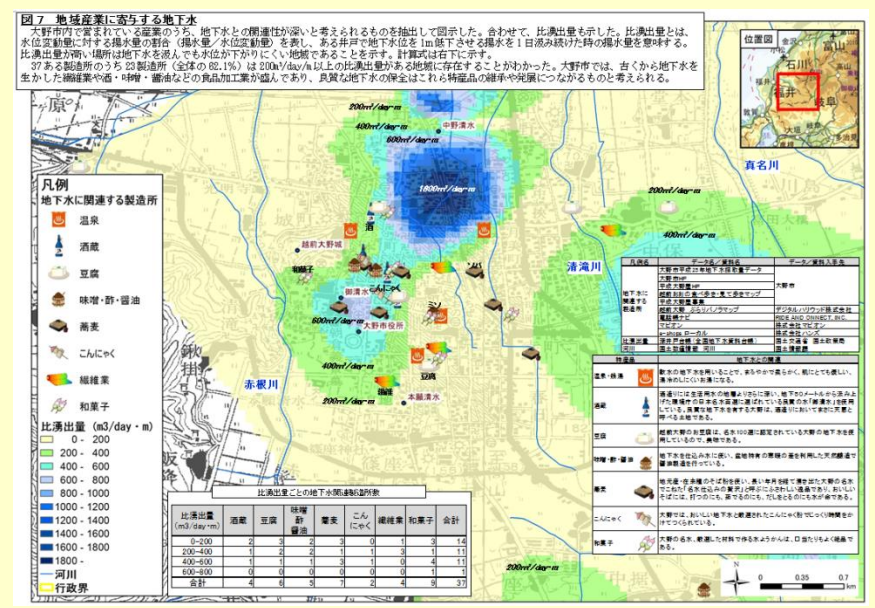
●●商店街では新ブランドを上げたい。  
この▲▲町はきれいな地下水が有名なので  
地下水に絡んだ商品を考えたい



⑥ ● ブランド化を通じて地域  
産業の振興につなげる  
● 観光産業と連携する

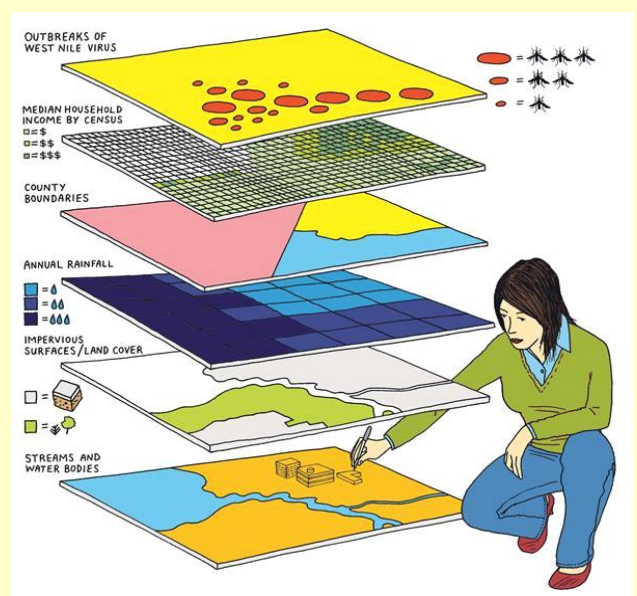


⑤ おいしい地下水と産物の関係がわかる



地下水情報図  
利活用：街歩きマップへの掲載、水保全活動とのコラボレーション

④ 集めたデータを図面にかさねてみよう



GIS (情報を重ね合わせて表示するソフトウェア) などを利用  
※専門家に委託することもできる

地下水のことを知ってもらい  
大事にしてもらえると  
うれしいな



湧水が流れ込む水田や湿地にみられるシオヤトンボ

「地下水の見える化」で、社会にうるおいを与える・人の輪が広がる・地域が元気になる

興味があったら国土情報課水調査のHPを見てください。

熊本地区や大野地区を対象にした地下水情報図の例を見ることができます。

国土情報課水調査

検索

お問い合わせ先

国土交通省 国土政策局 国土情報課 TEL : 03-5253-8353 FAX : 03-5253-1569